

市民・消費者・畜産農家・酪農家 みんなで声を上げよう！

「酪農・畜産の危機は、国民の“食”の危機！ ——日本から畜産の灯を消すな！」院内集会へのご参加と賛同のお願い

皆様が日頃から農と食を守り、食料自給率を向上させる運動にご理解とご協力をお寄せ下さっていることに感謝申し上げます。

いま、日本の酪農・畜産は、史上最悪の危機に直面しています。飼料をはじめあらゆる生産資材、光熱費等が高騰しているにも関わらず、生産費の上昇を乳価や畜産物価格に転嫁できず、雪崩を打つように離農・廃業・倒産しています。北海道では2020年には5800戸いた酪農家が、現在では5000戸を割る事態にまで陥っており、肉用牛、養豚、養鶏も経営危機です。このままでは日本から酪農・畜産産業が消えかねない非常事態です。

しかし政府からは、離農・廃業を食い止める有効な対策は打ち出されていません。乳製品の過剰在庫が乳価引き上げの足かせになっているのに、輸入は減らさず、牛の淘汰に補助金が出されています。酪農家が切望する緊急の経営支援は検討すらされず、乳価引き上げ交渉に国が責任を持ってイニシアチブを発揮することもしていません。配合飼料は価格安定制度が機能しなくなっています。

いまの事態が続けば、国民は国内産の牛乳や畜産品を手に入れることが困難になります。

ウクライナ危機、気候危機のもと「お金を出せば輸入できる」ことを前提にした食料安全保障は通用しません。

つきましては、下記のように市民と消費者、そして畜産農家・酪農家が一堂に会して、一刻も早い対策へ、政府に政治決断を迫る院内集会を開催します。

1月23日からは国会も始まりました。国会の審議を揺さぶる世論を大きく広げて、政府に対策をとらせようではありませんか。

“食と農の一大事”にご理解いただき、院内集会への賛同とご参加をお願い申し上げます。

= 開催要項 =

- ◇ 日時 2月14日（火）午後1時30分～3時30分
- ◇ 会場 参議院議員会館 講堂 （Z o o mも併用）
- ◇ 内容 政党からのあいさつ
鈴木宣弘さんのスピーチ
酪農家、畜産農家からの訴え
消費者・市民団体のスピーチ

= 共催・呼びかけ団体 =

- 一般財団法人『食料安全保障推進財団』
- 安全・安心の国産牛乳を生産する会
- 国民の食糧と健康を守る運動全国連絡会（全国食健連）
- 農民運動全国連合会

（呼びかけ団体事務局） 農民運動全国連合会（略称・農民連）

〒173-0025 東京都板橋区熊野町47-11 社医研センター2階

Tel 03(5966)2224 Fax 03(5966)2226

E-mail info@nominren.ne.jp